

ハマボウフウのセル成型育苗法

石郷岡典子・常盤秀夫

(福島県農業試験場いわき支場)

Plug transplant production of *Glehnia littoralis*

Noriko ISHIGOUOKA and Hideo TOKIWA

(Iwaki Branch, Fukushima Prefecture Agricultural Experiment Station)

1 はじめに

セリ科多年草のハマボウフウは、かつて福島県浜通り地方の沿岸に多く自生し食材としても利用されていたが、砂浜の浸食や乱獲等により現在では絶滅に近い状況にある。ハマボウフウは貴重な植物資源であり、今後、地域特産品としての活用や自生地復活が望まれるものの、発芽率や発芽揃いが非常に悪いため、これらを改善する栽培技術が求められている。

そこで、特産品としての栽培や自生地復活に活用できる簡易な育苗技術を検討した。

2 試験方法

福島県農業試験場いわき支場の露地ほ場および無加温ハウス内において、発芽試験および育苗試験の2つの試験を実施した。発芽試験では播種前の前処理と発芽率、育苗試験では育苗用セルトレイの大きさと苗の生育との関係をそれぞれ評価した。

(1) 発芽試験

種子は、前年(2001年8月)に採種し、自然乾燥後に冷暗所で保管したものを、播種容器は72穴セルトレイ(口径40mm×深さ50mm)を使用した。播種前に種子の冷蔵処理または土中埋蔵処理を施し、春まき(2002年3月27日播種)と秋まき(同年9月25日播種)の発芽率について調査した。

土中埋蔵処理は排水の良い畑を深さ30cmに掘り、そこに網袋に入れた種子を埋めて1ヶ月間埋蔵した。

冷蔵処理は種子とパーミキュライトを体積比1:3の割合に混ぜてポリ袋に入れ、これに適度の水分を含ませて密封し、5℃・暗黒状態の冷蔵庫に入れて1ヶ月間冷蔵した。

また、果実の果皮の除去が、発芽率に与える影響を調査した(図1)。

(2) 育苗試験

育苗用のセルトレイは、128穴(口径30mm×深さ45mm)、72穴(40mm×50mm)、38穴浅型(54mm×50mm)、38穴深型(54mm×147mm)の4種を用い、用土はヤシガラとパーミキュライトを体積比1:1に混ぜて使用した(図2)。播種は2002年3月27日に行った。

育苗期間については50日間(5月定植)と82日間(6月定植)の2区を設け、定植時における苗の草丈、直根長、直根重および定植後の草丈、株張り等の生育調査を行った。

3 試験結果および考察

(1) 種子の前処理および播種時期と発芽率との関係

種子の土中埋蔵処理あるいは冷蔵処理を行うと発芽率は向上するが、特に春まきでは無処理区が40%程度であるのに比べ、処理区では90%前後に向上した。

播種期別では、春まきは秋まきに比べて発芽率や発芽揃いが良かった。また、播種前に種子の果皮を除去すると、発芽率や発芽揃いが向上した(表1)。

(2) セルトレイの種類・育苗期間と苗の生育との関係

セルトレイの種類別では、38穴深型は葉や根の生育が最も優れ、定植後の生育も旺盛で株張りが良かった(表2, 3)。

育苗期間の比較では、50日育苗は82日育苗に比べて、定植後の活着や株張りが良く生育が旺盛であった(表2, 3)。

4 ま と め

以上の結果から、ハマボウフウの育苗では、播種前に種子の土中埋蔵あるいは冷蔵処理を行い、38穴深型セルトレイを使用して3月に播種し5月に定植すると、発芽率や発芽揃いが良く、苗の活着や株張りが優れ生育が旺盛となる。また、播種時に種子の果皮を除去すると発芽率や発芽揃いがさらに向上する。

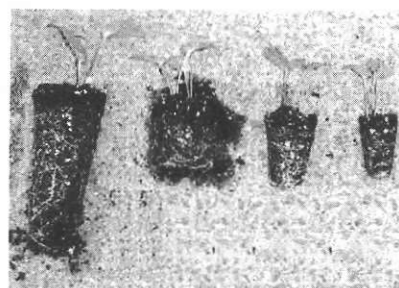


図2 セルトレイで育苗した
ハマボウフウ苗
注) 左から38穴深型、38穴浅型、
72穴、128穴

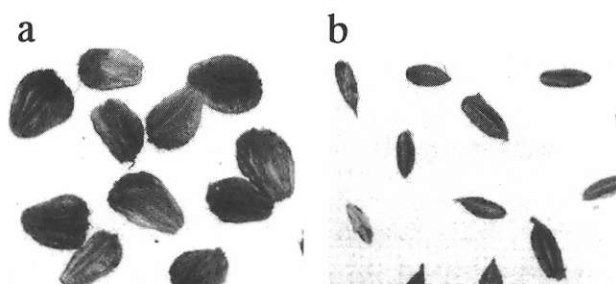


図1 ハマボウフウの果実
注) a:無処理、b:果皮を除去したもの

表1 播種時期および各処理がハマボウフウのセルトレイにおける発芽率に及ぼす影響

播種前の処理	果皮の処理	2002年3月27日播種(春まき)			2002年9月25日播種(秋まき)		
		4月17日	4月24日	5月15日	10月16日	10月23日	11月20日
無処理	無処理	3	7	38	0	0	7
	除去	0	19	46	3	6	8
土中埋蔵	無処理	47	93	93	13	19	22
	除去	79	97	97	10	17	17
冷蔵	無処理	6	65	79	28	40	42
	除去	57	92	92	60	65	65

注) 72穴セルトレイ使用、用土はヤシガラ：バーミキュライト=1：1 (%)

表2 ハマボウフウ苗の定植時の生育状況

セルトレイ	50日間育苗(5月定植)			82日間育苗(6月定植)		
	草丈(cm)	直根長(cm)	直根重(g/株)	草丈(cm)	直根長(cm)	直根重(g/株)
128穴セルトレイ	4.9	5.3	0.08	5.8	8.3	0.27
72穴セルトレイ	5.7	8.4	0.09	7.4	7.8	0.54
38穴セルトレイ浅型	5.7	6.8	0.09	8.0	7.7	0.53
38穴セルトレイ深型	7.1	10.4	0.12	9.4	12.4	0.87

注) 調査は定植時に行った

播種日：2003年3月27日、定植日：5月16日、6月17日

表3 ハマボウフウの定植後の生育状況

セルトレイ	50日間育苗(5月定植)		82日間育苗(6月定植)	
	草丈(cm)	株張(cm)	草丈(cm)	株張(cm)
128穴セルトレイ	14.3	31.5	9.4	16.8
72穴セルトレイ	15.0	39.5	10.3	19.7
38穴セルトレイ浅型	19.7	37.8	10.0	19.7
38穴セルトレイ深型	16.6	51.6	10.4	26.2

調査日：2002年7月31日

株張：株を上から見た状態における短径